

議案第24号 平成24年度嘉麻市一般会計予算に対する付帯決議（案）

平成24年度嘉麻市一般会計予算におけるケーブルネットワーク基盤整備事業費の執行にあたっては、下記の事項を遵守することを強く要望するものである。

記

1、市民への説明・加入調査など

嘉麻市の最高規範と位置づけられている自治基本条例に基づく、政策の立案過程からの市民の参画（説明会など）が行われておらず、速やかにきめ細かな住民説明会（行政区単位など）と加入調査を実施すること。

2、サービス内容の検討や協議体の設置

今次計画でのサービス内容は、テレビ・インターネットのみのサービス内容になっており、当初、旧山田市が導入した、防災機能をもつ個別音声告知、市内無料のIP電話、独居老人のCCDカメラによる健康相談など主要な柱が無くなっている。

速やかに、新たな柱となるサービス内容などを検討する協議体（専門家・市職員・市民など）を設置すること。

3、インフラ整備の手法と管理運営方法

今次の計画では、HFC方式（光ケーブルと同軸ケーブル）であり、次世代のコンピュータネットワーク（ブロードバンド）に対応できる方式ではないため、機能面、将来性のあるFTTH方式（各家庭内まで光ケーブル）を検討し、事業の再投資が発生しないようにすること。

また、管理運営の方法についても、嘉麻市の財政状況、市職員の改革による削減状況、民間活力の積極的な活用等を総合的に判断し、インフラ整備の手法と併せて公設民営方式等を実施設計前までに結論をだすこと。

4、競争原理を働かせること

設計・施工については、自由に競争ができ、かつ安価で良質な事業ができる環境を整えること。

5、行財政改革の重荷にならないこと

本市では、現在、第二次の行財政改革が行われており、今後とも厳しい改革が進むものと予測される、今次のケーブルネットワーク整備事業が、将来の嘉麻市の財政運営の重荷にならないよう、ケーブルネットワークの運営に対するコスト意識やサービス内容が硬直しないよう不断の努力をすること。

以上、決議する。

平成24年3月19日

嘉麻市議会

提出先 嘉麻市長